販路拡大、課題探る

大垣商議所が相談会



助言を受ける経営者(手前)＝大垣市恵比寿町、大信ホール

大垣商工会議所は1日、連携協定を結んでいる大垣共立銀行、大垣信用金庫と初の「経営なんでも相談会」を大垣市恵比寿町の大信ホールで開き、中小・小規模事業者が販路開拓や技術革新などの課題を相談した。

連携協定を結ぶ岐阜大や関係機関から中小企業診断士や弁護士、税理士ら17人が派遣され、事前に寄せられた相談に応じて複数の専門家で対応し、短時間で効率的に解決策を探った。

市内外の製造業やサービス業、建設業など68事業所の経営者が参加、ITを活用した販路拡大やマイナンバー制度への対応、海外進出の課題などを相談。人口分布のネットデータを活用した効率的なチラシ配布が提案されたほか、法人化して間もない経営者に経営計画の立案方法と国や県の補助制度が紹介され、参加者がメモを取りながら聞き入った。

無断複製・転載を禁じます